

平成31年度 4年次編入学生募集要項

〔 学 校 案 内 〕
〔 出 願 書 類 添 付 〕



願書受付期間	平成30年7月17日(火)～7月20日(金)
学力検査・面接	平成30年8月27日(月)
合格発表	平成30年8月30日(木)

独立行政法人 国立高等専門学校機構
石川工業高等専門学校

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条
電 話 076-288-8024 (学生課入学試験係)
F A X 076-288-8032
E-mail bosyu@ishikawa-nct.ac.jp
ホームページ <http://www.ishikawa-nct.ac.jp/>

石川高専のアドミッションポリシー (入学者受入方針)

○ 編入学のアドミッションポリシー

1. 工学の基礎を身につけている人
2. 向上心を持ち、より高い目標に向けて努力する人
3. 自主性と協調性を持ち、社会貢献する意欲のある人

準学士課程の学習目標

1. 技術者として必要な基礎学力と専門的知識を身につける。
2. 意欲的・実践的に、ものづくりや課題の解決に最後まで取り組むことができる。
3. 幅広い視点から自らの立場を理解し、社会や環境に配慮できる。
4. 自分の考えを正しく表現し、公正に意見を交換することができる。

目 次

I 編入学生募集要項

1. 編入学を実施する学科, 募集人員及び編入学年	1
2. 出 願 資 格	1
3. 出 願 手 続	1
4. 選 抜 方 法	2
5. 学力検査・面接の日時及び会場	3
6. 合 格 発 表	3
7. 意志確認書の提出	3
8. 入 学 手 続 等	3
9. 身体に障害のある者の出願	4
10. 個人情報取扱の取扱い	4
11. 学力検査結果の簡易開示について	4

II 学 校 案 内

1. 教育課程の紹介	5
2. 各学科の紹介	5
3. 専攻科の紹介	6
4. カリキュラム	7
5. 諸 経 費	13
6. 奨 学 金	13
7. 入学料, 授業料の減免・徴収猶予制度	13
8. 課 外 活 動	13
9. 学 生 寮	14
10. 卒業後の進路	14

I 編入学生募集要項

1. 編入学を実施する学科，募集人員及び編入学年

学 科	募集人員	編入学年
機 械 工 学 科	若干名	第4学年
電 気 工 学 科	若干名	
電子情報工学科	若干名	
環境都市工学科	若干名	
建 築 学 科	若干名	

2. 出願資格

高等学校を平成31年3月卒業見込みの者又は卒業した者で出身学校の長が推薦する者

3. 出願手続

(1) 出願期間

平成30年7月17日(火)～7月20日(金) 持参する場合は，9：00～17：00

なお，郵送による場合も出願期間内の必着とします。

(2) 提出先

石川工業高等専門学校 学生課入学試験係

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条

(3) 出願書類等

次の書類を一括して，本校学生課入学試験係あてに提出してください。郵送する場合は，簡易書留郵便にて郵送してください。

なお，出身学校が取りまとめて出願する場合でも，志願者ごとに本校所定の封筒に入れて提出してください。

①	編入学願書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
②	写真票及び受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入し，写真を所定の位置に貼付してください。【写真は，正面上半身，無帽，無背景(縦4cm×横3cm)で，出願前3か月以内に撮影したもの。裏面に，志望学科と氏名を記入してください。】
③	推薦書	本校所定の用紙により，出身学校長が作成してください。
④	卒業見込証明書又は卒業証明書	出身学校指定の用紙により，出身学校長が作成してください。
⑤	調査書	出身学校所定の用紙により，出身学校長が作成してください。
⑥	検定料 払込金証明書	検定料 16,500円 本校所定の用紙により，平成30年7月11日(火)～7月20日(金)の期間に金融機関の窓口で振り込み，「払込金証明書【学校提出用】」を提出してください。ATM(現金自動預払機)，インターネット等からは振り込まないでください。(次ページに続く)

⑥	検 定 料 払込金証明書	<p>既納の検定料は、理由の如何を問わず返還できません。ただし、次の場合は検定料の返還手続を行うことができますので下記担当まで連絡してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検定料を払い込んだが、出願書類を提出しなかった又は受理されなかった場合 ・ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合 <p>連絡先：石川工業高等専門学校 総務課経理係 電話 076-288-8022</p>
⑦	連 絡 用 宛名シール	受検票等を送付する際に使用します。

※出願に関する注意事項

- ① 出願書類の記入は、黒色のペンまたはボールペンを使用してください。
- ② 書類提出後は、記載事項の変更及び書類の返還は認めません。
- ③ 検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局(ゆうちょ銀行)からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- ・ ゆうちょ銀行からの振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要です。
- ・ ゆうちょ銀行からの振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「振込依頼書(兼振替払出請求書)〔電信扱い〕(ゆうちょ銀行以外の銀行宛)を受け取り、必要事項を記入し、ゆうちょ銀行窓口にお渡しください。
- ・ 振込後は、「振込依頼書(兼振替払出請求書)お客さま控」を受領して、入学願書と共に本校に提出してください。

※建築学科希望者の建築士等の受験資格取得に関する注意

建築系学科以外からの編入学に関しては、本校卒業時に、建築士等の受験資格が取得できない場合があります。

4. 選抜方法

学力検査及び面接の結果並びに調査書の内容を総合判定して行います。

(1) 学力検査科目

学力検査は、数学、英語及び専門の3科目について筆記試験を行い、数学100点満点、英語100点満点、専門科目300点満点とします。なお、1科目でも受検しないと失格(不合格)になります。

志望 学科	検査 科目	出 題 範 囲	
全 学 科 共 通	数 学	数学 I, 数学 II	
	英 語	コミュニケーション英語 I, 英語表現 I	
機 械 工 学 科	専 門	機 械 設 計	機械にはたらく力と運動, 機械の仕事と動力, 材料の強さ, ねじ, 軸とその回転部品, 歯車などの伝達装置
		機 械 工 作	機械材料, 鋳造, 鍛造, 板の形成加工, 溶接, 切削加工, 研削加工
電 気 工 学 科	専 門	電 気 基 礎	直流回路, 磁気と静電気, 交流回路
		電 子 回 路	電子回路用素子, 電子回路の基礎(低周波増幅回路)

電子情報 工 学 科	専 門	電 気 基 礎	直流回路, 磁気と静電気, 交流回路
		電 子 回 路	電子回路用素子, 電子回路の基礎(低周波増幅回路)
		電子情報技術 (C言語を含む)	コンピュータの電子回路, コンピュータの構成と機能, コンピュータ制御
		プログラミング技術 (C言語を含む)	プログラミング技法, 応用的プログラム
環境都市 工 学 科	専 門	土木基礎力学	土木構造力学の基礎, 土質力学の基礎, 水理学の基礎
		測 量	測量の基礎, 平面の測量, 高低の測量
建築学科	専 門	建 築 構 造	建築材料, 木構造, 鉄筋コンクリート構造, 鋼構造
		建築構造設計	構造物に働く力, 静定構造物, 部材に関する力学
		建 築 計 画	建築の歴史, 建築と環境, 建築の設備, 各種建築物の計画, 都市計画
		設 備 計 画	設備の基礎, 建築物の設備計画

(2)面 接

志望動機や目的意識についての面接を行います。

5. 学力検査・面接の日時及び会場

(1)日 時

月 日	時 間 割			
	数 学 (70分)	英 語 (50分)	専 門 (100分)	面 接
8月27日 (月)	9 : 30 }	10 : 50 }	12 : 40 }	筆記試験 終了後
	10 : 40	11 : 40	14 : 20	

(注)ア. 20分以上遅刻した場合は, 受検を認めません。

イ. 昼食を持参してください。

(2)検査会場

石川工業高等専門学校 (注)当日は9時20分までに検査室に集合してください。

6. 合格発表

平成30年8月30日(木) 正午頃

本校構内に合格者の受検番号を掲示するとともに, 本校ホームページにより発表します。また, 合格者本人及び全ての出願者の出身学校長あてに文書で通知します。

電話等による合否の照会には応じません。

7. 意志確認書の提出

合格通知を受けた者は, 「意志確認書」を平成30年9月6日(木)17時までに本校学生課入学試験係まで提出してください。

なお, 期限までに「意志確認書」を提出しない者は, 入学を辞退したものとみなします。

8. 入学手続等

入学手続日, 入学に必要な書類等については「意志確認書」で入学の意志を表示した者に, 2月下旬頃に通知します。

なお、企業等に在職のまま入学を希望する者は、入学手続日までに所属企業等の長の承諾書(様式任意)を提出してください。

9. 身体に障害のある者の出願

身体に障害があり、受検及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、事前に相談してください。

連絡先：石川工業高等専門学校 学生課入学試験係

〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条 電話 076-288-8024

10. 個人情報の取扱い

提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1)入学後の教育・指導
- (2)入学料，授業料の免除申請の審査
- (3)奨学金申請の審査
- (4)本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- (5)本校教育後援会，生活協同組合及び同窓会の事務
- (6)その他，個人が特定できない形で行う統計処理

11. 学力検査結果の簡易開示について

受検者本人から申請があった場合，3科目(数学・英語・専門)の科目別得点及びその合計点について窓口閲覧による簡易開示を実施します。

本人が来校の上，受検票を提示し，申請してください。申請用紙は本校にあります。申請当日に窓口で閲覧してください。

実施期間及び時間等詳細については，出願のあった高等学校長あてにお知らせします。

II 学 校 案 内

工業高等専門学校は、深く工業に関する技術と理論を教え、職業に必要な能力を養成し、人間性豊かな実践的技術者を養成することを目的としています。

本校は昭和40年に創設された国立の工業高等専門学校で、機械工学科、電気工学科、電子情報工学科、環境都市工学科及び建築学科の5学科が置かれています。入学定員は各学科40名で合計200名です。卒業生の約半数は企業や官公庁に就職し、約半数は高専専攻科や国公立大学（3年次編入学）に進学しています。

1. 教育課程の紹介

高等専門学校の教育課程には、次のような特色があります。

(1) 修業年限5年の一貫した教育を行っています。

(2) 第1学年から一般科目とともに専門科目も履修し、専門科目の比率は学年進行に伴って大きくなっていきます。第3学年では一般科目と専門科目の比率は、ほぼ半々になります。

一般科目は、心身ともに豊かな技術者を養成するため、人文・社会科学系科目、自然科学系科目及び外国語、保健体育、芸術に関する科目を開講し、さらに特別教育活動においても、重要な役割を担っています。開講される科目は、専門学科すべてに共通するものであり、教育課程においては、高専の特色としての一貫教育の見地から、学生の成長発達段階に応じて、後期中等教育及び一般教養ともに充足するように配当されています。現在、全学生は7ページに示す一般教育科目を修得することになっています。

(3) 第4学年からの専門科目は理論的なもの、応用的なもの、高度なものへと進み、実験、実習の時間が多くなります。そして第5学年では、さらに卒業研究を行います。

このように5年間を通して専門知識を基礎から積み上げていき、実践的かつ創造性ある技術者を育成するカリキュラムを目指しています。卒業生は産業界からも常に高い評価を受けています。

◇創造工学プログラム

本校では、本科4年の一部から専攻科2年までについて、全学科・専攻を一つにした「創造工学プログラム」を設定しています。このプログラムは、複合工学修得コースと専門工学探究コースからなり、このうちの複合工学修得コースは日本技術者教育認定機構(JABEE)によって国際的に通用する技術者を育成するプログラムとして、平成18年5月に認定されました。

2. 各学科の紹介

◇機械工学科

機械工学はあらゆる工業技術の基幹をなしており、その内容は日夜進展しています。機械工学科では、そのような変化に常に対応できるように、低学年での「ものづくり」の基礎と実技をふまえ、高学年では幅広い分野の理論と応用を学びます。さらに新素材、エネルギー、ロボットなどの分野の選択科目から自分の興味のある科目を選んでより深く学習することができます。年間を通した5年生の卒業研究では、未知の領域に踏み込み、新しい結果を導き出すことを体験し、将来どのような分野にも対応できるような柔軟な適応力の養成に心掛けています。

◇電気工学科

現在、社会発展の原動力とも言えるエネルギー、エレクトロニクス、制御、通信、情報等はいずれも電気工学が深くかかわりを持つ分野であり、電気工学科は、これらの領域で活動できる有為な技術者を養成することを目指しています。特に、実験・実習に多くの時間をかけることにより、基礎的技術及び理論の効果的な把握をはかり、同時に応用理論も習得できるようにしています。

また、学外実習や工場見学等により企業実態に触れる機会も多く、創造工学実験や卒業研究では実践的な応用能力や創造力の養成を行います。

◇電子情報工学科

電子、通信及び情報関係等の先端技術分野の人材不足が、社会的に大きな問題となっています。この傾向は、将来にわたって続くことが予想され、電子技術と情報処理技術及びこれらを融合した技術を身につけたエンジニアが、産業界のあらゆる分野で要求されています。電子情報工学科では、電子工学系の基礎及び応用、コンピュータハードウェア、ソフトウェアの基礎並びに応用について講義、演習、実験、卒業研究を通して十分に教育し、将来はどの方向に進んでも存分に活躍できる、明日を支える技術者を養成することを目指しています。

◇環境都市工学科

私たちが環境と調和しながら豊かに暮らすために必要な、上下水道、発電、道路、鉄道、空港、港湾などの街のあらゆる施設の建設、維持管理を行っていくために環境都市工学の技術が使われています。

環境都市工学科では、どのような分野にも対応し得るよう基礎的な理論から最新のコンピュータ処理技術や建設技術に至るまで、幅広い知識の習得に努めるとともに実践的能力を養うために実験、実習、CADなど、かなりの時間をカリキュラムに取り入れています。

◇建築学科

建築はいわば人間生活の器です。ゆえに建築技術は、人間やそのくらしを理解し、安全で快適な建築空間を創造する総合性をもつものでなければなりません。

建築学科では、幅広い知識と豊かな創造力をもつ建築技術者を養成することを目指し、専門の基礎科目を重視する一方、計画・環境・構造に関するコンピュータ処理技術など、新しい時代に対応すべく、幅広い知識を習得できるよう力を注いでいます。

3. 専攻科の紹介

本校では平成12年4月から、高等専門学校5年卒業後さらに上級への進学課程としての専攻科が開設されました。

ここで2年間、より高度な教育と研究指導を受けることにより、修了時に(独)大学改革支援・学位授与機構の定めた条件を満たすことにより、大学卒業生と同じ“学士(工学)”の学位を取得することができ、大学院にも進学できます。

一方、平成18年度からは、1年生を対象に主として地域の企業等における実務訓練などを中心とした3ヶ月間の長期インターンシップを実施しています。

4. カリキュラム(平成31年度4年次編入学者に適用)

一般必修科目

授業科目		単位数	学年別配当						
			1	2	3	4	5		
国語	国語 I	4	4						
	国語 II	2		2					
	国語 III	2			2				
	日本文学	1				1			
社会	歴史 I	2	2						
	歴史 II	1		1					
	倫理	2		2					
	地理	1		1					
会	現代社会	1			1				
	環境倫理	1				1			
数学	基礎数学 A	4	4						
	基礎数学 B	3	3						
	解析学 I	4		4					
	解析学 II	4			4				
	代数・幾何 I	2		2					
	代数・幾何 II	1			1				
理学	総合数学	1			1				
	物理学 I	2	2						
	物理学 II A	2		2					
	物理学 II B	1		1					
科	総合物理	1			1				
	化学 I	2	2						
	化学 II	3		3					
保健体育	生命の科学	1				1			
	保健体育 I	2	2						
	保健体育 II	2		2					
	保健体育 III	2			2				
	保健体育 IV	2				2			
目	保健体育 V	1						1	
	芸術	美術	1	1					
	外国語	基礎オーラルコミュニケーション	2	2					
		基礎英語 I	2	2					
		基礎英語 II	2		2				
		英語表現 I	2	2					
		英語表現 II	4		4				
		英語表現 III	1			1			
		総合英語	1			1			
		英語講読 I	2			2			
英語講読 II		2				2			
英語講読 III	1						1		
一般必修科目開講単位合計		77	26	26	16	7	2		

専門必修科目及び選択科目 機械工学科

	授業科目	単位数	学年別配当					
			1	2	3	4	5	
必修	応用数学 A	1				1		
	応用数学 B	2				2		
	確率・統計 I	1				1		
	確率・統計 II	1					1	
	応用物理 I	2			2			
	応用物理 II	2				2		
	機械工学基礎	1	1					
	コンピュータリテラシー	1	1					
	情報処理 I	2			2			
	情報処理 II	2				2		
	材料力学 I	2			2			
	材料力学 II	2				2		
	材料強度学	1					1	
	機械要素	1		1				
必修	工業力学	1			1			
	機構学	1			1			
	機械力学	2				2		
	熱力学 I	2			2			
	熱力学 II	2				2		
	伝熱工学	1					1	
	流れ学 I	2			2			
	流れ学 II	2				2		
	流体力学	1					1	
	材料学 I	2			2			
	材料学 II	1				1		
	機械工作法 I	1	1					
	機械工作法 II	2		2				
	電気工学	2				2		
	電子情報	1					1	
	メカトロニクス	1					1	
	制御工学	2					2	
	産業法規	1					1	
	工業英語	2					2	
	機械工学総合演習	1					1	
	必修	機械実習 I	3	3				
		機械実習 II	3		3			
機械創造演習		2			2			
機械基礎製図 I		2	2					
機械基礎製図 II		2		2				
機械設計製図 I		2			2			
機械設計製図 II		2				2		
機械工学実験 I		3				3		
機械工学実験 II		2					2	
卒業研究		10					10	
専門必修科目開講単位数合計		82	8	8	18	25	23	

	授業科目	単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
選択科目	数学基礎演習*1	1				1	
	数学応用演習*1	1				1	
	法と社会秩序	1				1	
	第2外国語 I	2				2	
	第2外国語 II*2	2					2
	特別英語演習	1					1
	環境マネジメント概論	2					2
	管理工学	2					2
	工業材料	2					2
	生産技術概論	2					2
	ロボット工学	2					2
	シミュレーション工学	2					2
	原子力工学	2					2
	選択科目開講単位数合計	22				5	17
一般必修科目単位数合計	77	26	26	16	7	2	
専門必修科目単位数合計	82	8	8	18	25	23	
選択科目最低修得単位数合計	8	0	0	0	1	7	
修得単位数合計	167	34	34	34	33	32	

*1 数学基礎演習及び数学応用演習は、いずれか一方のみ受講可能

*2 第2外国語 II は、第2外国語 I を修得した場合にのみ受講可能

電気工学科

	授業科目	単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
必	応用数学 A	1				1	
	応用数学 B	2				2	
	確率・統計 I	1				1	
	確率・統計 II	1					1
	応用物理 I	2			2		
	応用物理 II	1					1
	電気数学	1	1				
	電気工学基礎 I	2	2				
	電気工学基礎 II	2		2			
	回路基礎	2		2			
	電気回路 I	2			2		
	電気回路 II	2				2	
	電気磁気学 I	2			2		
	電気磁気学 II	2				2	
	デジタル回路基礎	2	2				
	電子回路 I	2			2		
	電子回路 II	2				2	
	修	電気電子計測	1			1	
制御工学 I		1				1	
制御工学 II		2					2
コンピュータリテラシー		1	1				
プログラミング I		2		2			
プログラミング II		2			2		
プログラミング III		2				2	
情報理論		1					1
電気機器 I		2			2		
電気機器 II		1				1	
パワーエレクトロニクス		1			1		
高電圧工学		2				2	
電力工学		1					1
半導体デバイス I		1			1		
半導体デバイス II		2				2	
電気材料		2					2
通信工学		2				2	
情報ネットワーク工学		2					2
デジタル信号処理	1					1	
目	製 図	2	2				
	電気電子工学基礎実験 I	2		2			
	電気電子工学基礎実験 II	3			3		
	電気電子工学実験 I	2				2	
	創造工学実験	3				3	
	電気電子工学実験 II	2					2
	卒業研究	10					10
	専門必修科目開講単位数合計	82	8	8	18	25	23

	授業科目	単位数	学年別配当					
			1	2	3	4	5	
選 択 科 目	電気応用	1					1	
	法と社会秩序	1					1	
	第2外国語 I	2					2	
	第2外国語 II ^{*1}	2						2
	特別英語演習	1						1
	環境マネジメント概論	2						2
	シーケンス制御	2						2
	電力系統工学	2						2
	原子力工学	2						2
	光電子工学	2						2
	基礎電波工学	2						2
	電気法規	1						1
	電波法規	1						1
	選択科目開講単位数合計	21						4
一般必修科目単位数合計	77	26	26	16	7	2		
専門必修科目単位数合計	82	8	8	18	25	23		
選択科目最低修得単位数合計	8	0	0	0	1	7		
修得単位数合計	167	34	34	34	33	32		

*1 第2外国語 II は、第2外国語 I を修得した場合にのみ受講可能

電子情報工学科

	授業科目	単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
必修	応用数学 A	1				1	
	応用数学 B	2				2	
	確率・統計 I	1				1	
	確率・統計 II	1					1
	応用物理 I	2				2	
	応用物理 II	1					1
	電子情報工学基礎 I	2	2				
	電子情報工学基礎 II	2		2			
	回路基礎	2		2			
	電気回路 I	2			2		
	電気回路 II	1				1	
	電子回路 I	2			2		
	電子回路 II	1					1
	電磁気学 I	2			2		
	電磁気学 II	2				2	
	電子デバイス	2				2	
	デジタル回路	2			2		
	必修	コンピュータアーキテクチャ	2			2	
オペレーティングシステム		2			2		
データベース		1			1		
情報基礎		2	2				
プログラミング I		2	2				
プログラミング II		2		2			
アルゴリズムとデータ構造		2			2		
ソフトウェア工学		2				2	
コンパイラ		1					1
数値解析 I		1				1	
数値解析 II		1					1
情報理論 I		2				2	
情報理論 II		1					1
画像情報処理		1					1
デジタル信号処理		2					2
制御工学		2					2
情報通信 I		1			1		
情報通信 II		2				2	
情報通信 III	1					1	
電子情報工学総合演習	2				2		
システム設計演習	3				3		
電子情報工学実験 I	2	2					
電子情報工学実験 II	2		2				
電子情報工学実験 III	2			2			
電子情報工学実験 IV	2				2		
電子情報工学実験 V	1					1	
卒業研究	10					10	
専門必修科目開講単位数合計	82	8	8	18	25	23	

	授業科目	単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
選択科目	数学基礎演習*1	1				1	
	数学応用演習*1	1				1	
	法と社会秩序	1				1	
	第2外国語 I	2				2	
	第2外国語 II*2	2					2
	特別英語演習	1					1
	環境マネジメント概論	2					2
	電子材料	2					2
	システム数理工学	2					2
	人工知能	2					2
	ロボット工学	2					2
	シーケンス制御	2					2
	管理工学	2					2
	産業法規	1					1
選択科目開講単位数合計	23				5	18	
一般必修科目単位数合計	77	26	26	16	7	2	
専門必修科目単位数合計	82	8	8	18	25	23	
選択科目最低修得単位数合計	8	0	0	0	1	7	
修得単位数合計	167	34	34	34	33	32	

*1 数学基礎演習及び数学応用演習は、いずれか一方のみ受講可能

*2 第2外国語 II は、第2外国語 I を修得した場合にのみ受講可能

環境都市工学科

	授業科目	単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
必	確率・統計	2				2	
	応用数学	1				1	
	応用物理	2			2		
	環境都市工学基礎	2	2				
	コンピュータリテラシー	2	2				
	情報処理	2		2			
	プログラミング	1			1		
	C A D	1	1				
	構造力学Ⅰ	1		1			
	構造力学Ⅱ	3			3		
	構造力学Ⅲ	2				2	
	鋼構造学	2				2	
	水理学Ⅰ	3			3		
	水理学Ⅱ	2				2	
修	土質力学Ⅰ	3			3		
	土質力学Ⅱ	2				2	
	コンクリート工学	2		2			
	コンクリート構造学Ⅰ	1			1		
	コンクリート構造学Ⅱ	3				3	
	維持管理工学	1					1
	測量学Ⅰ	2	2				
	測量学Ⅱ	1		1			
	測量学Ⅲ	1					1
	環境システム工学	2			2		
	環境都市施設工学	2				2	
	環境保全工学	2					2
	循環型社会システム工学	2					2
	計画数理	2				2	
都市・交通計画	2				2		
目	国土・地域計画	1					1
	耐震防災工学	2					2
	環境都市工学設計製図Ⅰ	2				2	
	環境都市工学設計製図Ⅱ	2					2
	環境都市工学実験Ⅰ	2			2		
	環境都市工学実験Ⅱ	2				2	
	環境都市工学実験Ⅲ	2					2
	測量学実習Ⅰ	1	1				
	測量学実習Ⅱ	2		2			
	測量学実習Ⅲ	1			1		
	環境都市工学総合演習	1				1	
	卒業研究	10					10
	専門必修科目開講単位数合計	82	8	8	18	25	23

	授業科目	単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
選 択 科 目	応用物理実験	1				1	
	法と社会秩序	1				1	
	第2外国語Ⅰ	2				2	
	第2外国語Ⅱ*1	2					2
	特別英語演習	1					1
	環境マネジメント概論	2					2
	計算力学	2					2
	河川・水資源工学	2					2
	地盤工学	2					2
	廃棄物処理工学	2					2
	リモートセンシング	2					2
	交通システム・都市施設デザイン	2					2
	アーバンデザイン	2					2
	選択科目開講単位数合計	23				4	19
一般必修科目単位数合計	77	26	26	16	7	2	
専門必修科目単位数合計	82	8	8	18	25	23	
選択科目最低修得単位数合計	8	0	0	0	1	7	
修得単位数合計	167	34	34	34	33	32	

*1 第2外国語Ⅱは、第2外国語Ⅰを修得した場合にのみ受講可能

建築学科

	授業科目	単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
必	確率・統計	2				2	
	応用数学	1				1	
	応用物理	1				1	
	建築学基礎	1	1				
	コンピュータリテラシー	1	1				
	建築CAD基礎	1			1		
	建築CAD応用	1				1	
	建築情報処理演習	1					1
	造形演習	1			1		
	建築計画学基礎	1			1		
	建築計画学Ⅰ	1			1		
	建築計画学Ⅱ	1				1	
	建築計画学演習	1				1	
	地域・都市計画	1					1
	修	日本建築史	1		1		
西洋建築史		1	1				
近代建築史		1			1		
建築材料		1			1		
建築材料実験		1				1	
建築構法		1			1		
建築防災工学		1					1
鉄筋コンクリート構造Ⅰ		1				1	
鉄筋コンクリート構造Ⅱ		1					1
鉄骨構造Ⅰ		1				1	
鉄骨構造Ⅱ		1					1
構造力学基礎		1	1				
構造力学Ⅰ		1		1			
構造力学Ⅱ		2			2		
構造力学Ⅲ		2				2	
科	建築構造設計論	1					1
	建築振動論	1					1
	土質基礎工学	1					1
	建築環境工学Ⅰ	2			2		
	建築環境工学Ⅱ	2				2	
	建築環境工学Ⅲ	1					1
	建築設備計画Ⅰ	1			1		
	建築設備計画Ⅱ	1				1	
	測量学	1				1	
	測量学演習	1					1
	建築生産	2					2
	建築法規	2					2
	建築工学総合演習	1				1	
	建築設計Ⅰ	4	4				
	建築設計Ⅱ	6		6			
建築設計Ⅲ	6			6			
建築設計Ⅳ	6				6		
課題演習	2				2		
卒業研究	9					9	
専門必修科目開講単位数合計	82	8	8	18	25	23	

	授業科目	単位数	学年別配当				
			1	2	3	4	5
選 択 科 目	応用物理演習	1					1
	法と社会秩序	1					1
	第2外国語Ⅰ	2					2
	第2外国語Ⅱ ^{*1}	2					2
	特別英語演習	1					1
	環境マネジメント概論	2					2
	建築デザイン論	2					2
	建築経済	2					2
	アーバンデザイン	2					2
	リモートセンシング	2					2
	交通システム・都市施設デザイン	2					2
	建築環境計画演習	1					1
	建築設備計画演習	1					1
	選択科目開講単位数合計	21					4 17
	一般必修科目単位数合計	77	26	26	16	7	2
専門必修科目単位数合計	82	8	8	18	25	23	
選択科目最低修得単位数合計	8	0	0	0	1	7	
修得単位数合計	167	34	34	34	33	32	

*1 第2外国語Ⅱは、第2外国語Ⅰを修得した場合にのみ受講可能

5. 諸経費(平成30年度の額)

(1)学費等

- ①入 学 料 84,600円
納入時期 入学時(3月の予定)
- ②授 業 料 年 額 234,600円
(在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。)
納入時期 前期分は4月、後期分は10月の本校が指定する日
- ③教科書・教材費 年 間 約35,000円

(2)その他の経費

- ①教 育 後 援 会 入会金 10,000円
会 費 20,000円(年額)
納入時期 4月の本校が指定する日
- ②学 生 会 入会金 1,000円
会 費 8,000円(年額)
納入時期 4月の本校が指定する日
- ③旅 行 積 立 金 4年生後期に120,000円が必要です。
(一般学生は1年生後期から積み立てているため、編入学生は一括払となります。)
- *寮 費 学生寮に入る場合は、次ページを参照してください。
- *生活協同組合 入学時に出資金10,000円が必要です(卒業時に全額返還されます)。

6. 奨学金

奨学金として、(独)日本学生支援機構、石川県その他各種団体の奨学金の制度があり、全校で約60名の学生が受給しています。

7. 入学料、授業料の減免・徴収猶予制度

学資負担者の死亡等特別な事情により、入学料の納付が困難であると認められる場合に選考の上、入学料の全額若しくは半額免除や徴収猶予することがあります。

また、経済的理由のため授業料の納付が困難で学業成績が優秀である場合に、授業料の全額若しくは半額免除や徴収猶予することがあり、4年次以上で前期・後期併せて延べ約50名の学生が減免されています。

8. 課外活動

健康で明るく、充実した学生生活を送り、将来よりよい社会の一員として生活していくため、学生会を中心とした課外活動が奨励されています。

学生会の諸行事として、球技大会、文化部発表会、学園祭(紀友祭)などがありますが、これらは、自主的に運営され、全学生が積極的に参加しています。

クラブ活動には約70%の学生が参加しており、体育館(2棟)、武道館、陸上競技場、野球場、テニスコート(6面)、プール、サークル共用棟、合宿研修施設等、恵まれた環境を活用して学生生活を楽しむことができ、人間形成のうえで大いに役立っています。

毎年7月には北陸地区高等専門学校体育大会が、また、8月には全国高等専門学校体育大会が開催され、本校からも多数の選手を派遣し、良い成績をおさめています。その他、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、デザインコンペティション、英語プレゼンテーションコンテストにも参加しています。

また、学生のアイデアを思う存分発揮できるオンリー1プロジェクトもあります。

9. 学生寮

本校の学生寮は、教育面を重視した大切な教育施設として、位置付けされています。毎日、教員が当直に当たり、寮生の教育指導を行い、集団生活を通して健全な社会性を身につけた学生を育てるよう努力しています。

なお、空室に限りがあるため、審査の上、通学に不便な学生を優先的に入寮決定しています。

寄宿料・寮費の額

(1)寄宿料(部屋代)	月額	男子800円(1人部屋)	女子700円(2人部屋)
(2)寮費(運営費・食費)	月額	約38,000円	
(3)寮生会費	年額	3,200円	

10. 卒業後の進路

(1)就職状況

昭和45年に第1回卒業生を社会に送り出して以来、本校の卒業生の就職は、きわめて順調であり、それぞれの分野で有望な技術者として高い評価を受け、各企業及び官公庁の第一線で活躍しています。

なお、就職の指導については、多年の実績を活かし、学生の希望・適性を十分に考慮し、万全を期しており、卒業生の約半数が就職しています。

(2)進学状況

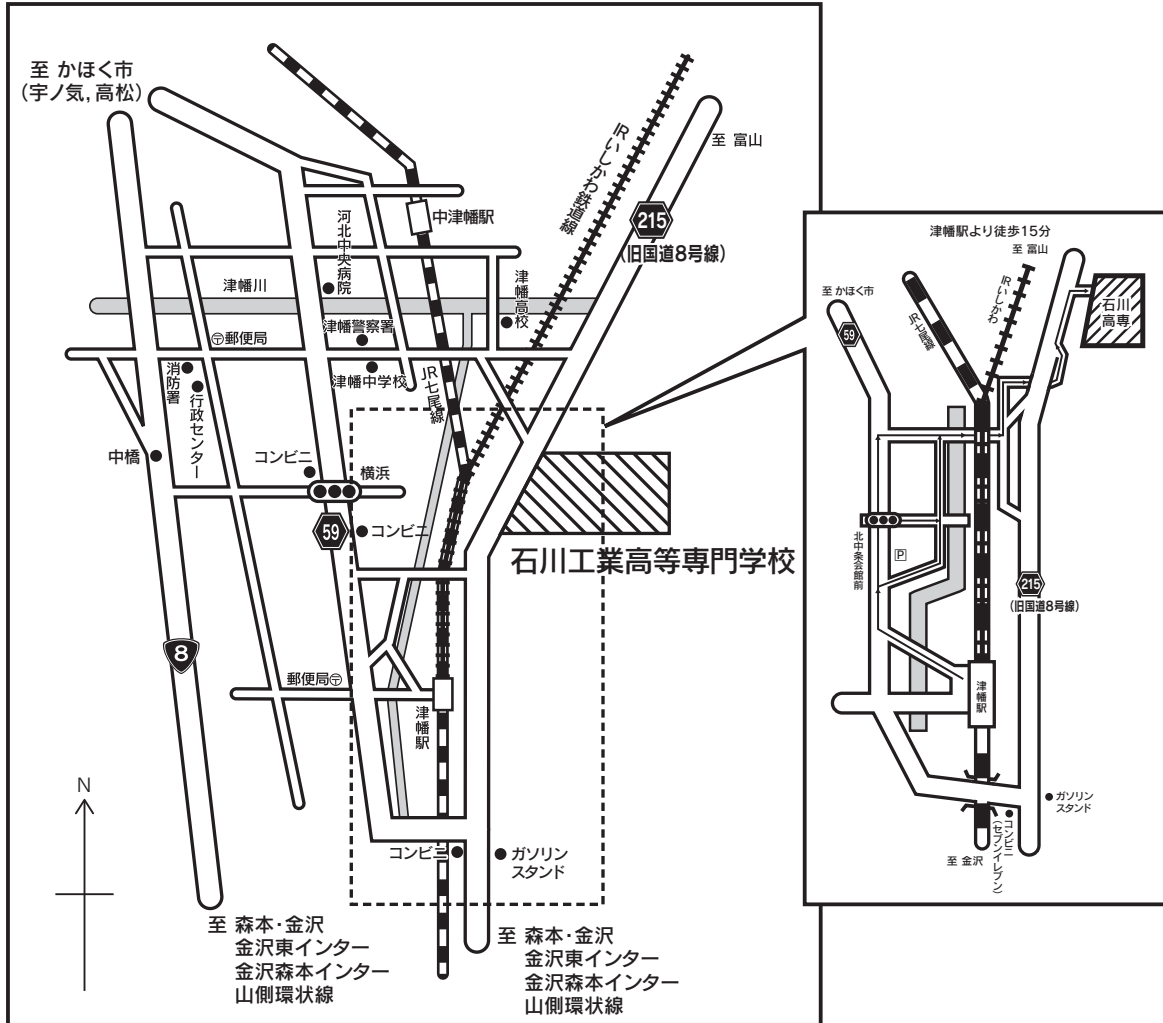
卒業生の約半数は、高専の専攻科や大学3年次(編入学)へ進学しています。

石川高専(本校)の専攻科へは、毎年30名程度の卒業生が進学しています。

就職・進学状況については、石川高専公式サイト「入学案内」をご覧ください。

URL <http://www.ishikawa-nct.ac.jp/adm/>

学校案内



この募集要項を希望される方は、本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、205円切手を貼った返信用封筒（角形2号(33cm×24cm)）を同封し、本校まで請求してください。（直接来校されてもかまいません。）
本校へ送付する封筒の表に「4年次編入学生募集要項請求」と朱書きしてください。

請求先 〒929-0392 石川県河北郡津幡町北中条 石川工業高等専門学校 学生課入学試験係